

栄養士会上越支部福祉部会研修報告

開催日時 平成 29 年 11 月 24 日（金）

会 場 上越市 知命堂病院 すこやかホール

参加対象 上越市、妙高市、糸魚川市の社会福祉施設に勤務する管理栄養士、栄養士

実施報告

今年度も上越支部福祉部会の研修会を開催致しました。

大きなテーマとして2つ。

「自らの施設の主食形態および副食形態を改めて把握し、考える」

「他施設の食事形態を把握する事で、転院・転設の際に役立てる」

日本摂食嚥下リハビリテーション学会から発表されている「嚥下調整食分類 2013」を用いて各施設の食事形態の写真やコードを記載した一覧を作成致しました。

また、この資料作成と同時にアンケート収集を行い、それらを基にしたグループワークも行いました。

アンケート結果において、「嚥下調整食分類 2013 を活用していますか？」との問いに、86%の施設で活用していない。または、初めて聞いたという結果でした。

さらに、「貴施設に入所される際、入所前情報のみでは不明で、入所前施設へ確認したことがあるか？」との問いに、54%の施設で確認したことがあるとの回答でした。

この事から、施設（近隣病院も含め）において、多くの名称や食事形態段階が混雑していることが分かりました。形態を統一することは難しいため、コードを用いて互いの共通認識が必要だと感じました。

グループワークでは、副食形態における食材の選択・調理方法、必要に応じて既製品を使用する等の各施設の工夫を話し合われていました。

この研修会を機に、利用者様が楽しく・無理のない食事摂取が継続できる事を第一に考えて、食事形態の検討を常に行っていく事が重要だと改めて考えさせられました。

報告者：福祉部会長 羽山